

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスほーぷふる		7年 3月 17日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	スペースが広いとは言えないが支援グッズ等の置き場を工夫している。	スペースがもっと広いと支援の幅が広がると思う。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	職員同士の意思疎通を図っている。	指定基準上はクリアしているが職員が増えるにより良い支援ができると思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		バリアフリー化はされていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		5S委員会を設置し施設内の整理・整頓を心掛けるようにしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		クールダウンをしたり静かに勉強をしたい時には相談室を使用できるようにしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者向け評価表の内容を職員会議で周知し改善点があれば話し合い改善に繋げています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎月の職員会議で職員同士で意見交換をしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	8		第三者による外部評価は今のところ行われていませんが前向きに検討しています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		県や市、通所支援事業所連絡協議会で行われている研修会に積極的に参加しています。	
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページに公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメントを適切に行っています。個別支援計画の検討会を毎月の職員会議で行いより良い支援に繋げていけるようにしています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		毎月の職員会議で検討会を行っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		児童発達支援管理責任者が計画を作成後お子様毎のファイルに閉じ、さらにグループLINEで閲覧出来るようにしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		適宜行っております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		適切な支援項目を設定し具体的な支援内容を設定するようにしています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		毎月の職員会議で活動プログラムの検討会を行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		季節の催し物を毎月取り入れています。 長期休みは特別なプログラムを組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		個々のお子様の状況に応じて職員で話し合い個別活動を検討しています。集団活動も全てのお子様に参加できるように作成しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		支援前に毎日ミーティングを行っています。 内容を連絡ノートやLINEで周知するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援後に毎日ミーティングを行っています。 当日の支援での気付きを連絡ノートやLINEで共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援の記録を個別にとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		最低半年に一度モニタリングを行い放課後等デイサービス計画の検討、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9		ガイドラインに準じた基本活動を組み合わせた支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		お子様が自己選択出来るように適切な問いかけをしております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		お子様の状況を熟知している管理者や児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	地域の関連機関と連携して支援を行っています。必要があれば担当者会議にも参加しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校お迎え時に先生と情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	可能な限り情報共有をするようにしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		移行先の施設等に訪問し情報共有するようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	必要に応じて行っております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	近隣の公園に遊びに行く時に地域の子ども達と一緒に鬼ごっこをしたりしています。	放課後児童クラブや児童館との交流は今のところ行えていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	地域の通所支援事業所連絡会に積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時に保護者と状況の共有をしています。 その日の活動の様子を写真を送付し、LINEやお電話でも随時行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7		研修は行えていませんが県等で行われている研修の情報は提供しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約の際に丁寧に説明させて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		面談を行いお子様やご家族の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		適宜行っております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		ご家族からの相談にていし面談時やLINE・お電話でお話させて頂いています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	8		今のところ保護者会は開催出来ていません。必要ないと言うご意見もあり今後の検討課題です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情があつて場合には適切に対応させて頂いております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月は一ぶふる通信・活動予定を発行しています。日々の活動をブログに載せ保護者には写真を毎回LINEで送っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の取り扱いには十分に気を付けています。個人ファイルの持ち出しは禁止になっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		絵カード等を使用し意思の疎通に配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		地域住民との交流が出来ていません。今後の課題です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	各種マニュアルを策定しています。必要な訓練も適宜行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPは策定しています。必要な訓練も定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		食物アレルギーのあるお子様の情報は職員間で必ず共有し、また毎日の業務日報に赤字で記載し間違いの内容にしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し安全管理が十分にされた支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		安全計画に基づいた取り組み内容を毎月発行している通信に載せたりブログ等で発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットの報告の必要性を職員会議で話し合いヒヤリハット報告書を作成し共有するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会を設置し毎月の職員会議で虐待について話し合っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	8	今のところ身体拘束の必要性のあるお子様は在籍していませんが身体拘束適正化委員会を設置しています。		